

平成20年9月11日(木) 第4校時
 第1学年C級(男子20名, 女子20名)
 指導者 満島 彩香

1 単元 豊かな表現を求めて

2 目標

- 楽曲に親しみをもち、みんなと協力しながら意欲的に音楽活動に関わる態度を育てる。
- 曲想を感じ取り、その場に合ったふさわしい表現を工夫することができる。
- 歌詞の内容にあった歌い方に気をつけ、自然で無理のない声で歌うことができる。
- 曲のよさや雰囲気を感じながら、範唱や友達の演奏を聴くことができる。

3 指導観

- 本単元は、学習指導要領の第1学年の表現の内容(1)ーア「歌詞の内容や曲想を感じ取って、歌唱表現を工夫すること」、キ「音色、リズム、旋律、和声を含む音と音とのかかわり合い、形式などの働きを感じ取って表現を工夫すること」をねらいとして設定したものである。

音楽にはそれぞれ、その曲自体に込められた想いや情景がある。その曲想を感じ取って聴いたり、そこに込められた想いを想像しながら表現したりすることは、そのこと自体が音楽を楽しむということである。ここでねらいとする「歌詞の内容や曲想を感じ取って、歌唱表現を工夫すること」は、生徒自身がなぜこういうイメージや感情をもったのかという根拠を、歌詞や曲の仕組みの中に探すという行為に繋がっていくということである。このことによって、その曲特有の味わいをつかむことができるようになり、曲にふさわしい表現がどういう表現であるかが分かってくる。また「音色、リズム、旋律、和声を含む音と音とのかかわり合い、形式などの働きを感じ取って表現を工夫すること」は音楽の諸要素の働きを他の構成要素と関連させながら総合的に知覚することである。これは、音楽の感性的側面とかかわらせてイメージ豊かに理解する能力を伸ばし、表現を工夫する技能を得ることをねらいとしている。本教材は題名にあるとおり「ありがとう」ということを大きなテーマとして挙げ、自分の周りにいる人たちやこれまでに会ったすべての人への感謝を表した曲である。楽曲構成も分かりやすく表現のしやすいものになっている。また全体の豊かな響きを感じ取ることができる曲である。

- 本校では毎年10月に校内合唱コンクールが行われている。合唱コンクールに対する生徒の関心は高く、音楽の授業を基盤としながらも、パートリーダーや指揮者を中心として、朝の会、帰りの会など日常の学級活動と深く結びついた活動が盛んである。合唱の練習は終盤を迎え、意欲的な活動が校内のあちらこちらで展開されている。最終段階の仕上げとして、さらに表現を豊かにし、もっと深まりのあるものにしていきたい。
- そこで本単元では、教材「ありがとう」の曲想を十分に感じ取る活動を通して、曲想にあった表現の美しさに気づくようにし、自分たちの表現に工夫して活かすことから、豊かな表現への意識や意欲が高まるようにする。

まず、教材の範唱CDを聴いたり歌詞解釈をしたりすることで曲に対するイメージをふくらませ、どのような表現をしたいかを全体で統一させたい。その後、曲中の音色、リズム、旋律、速度、強弱などの曲の構成要素を確認しながらパートリーダーを中心に全体合唱に向けてパート練習をしていきたい。そして全体で構成の確認をし、そして歌い方や表現の統一を図るために全体合唱をすることでより曲の雰囲気、曲想、美しさ、豊かさといったものを生徒に感じ取らせたい。さらにクラスがまとまってひとつの曲を創り上げているという実感を味わわせるとともに、演奏を録音して聴く活動を設定することにより、曲想や情景を思い浮かべて表現することのよさを味わい、活動の充実感や音楽表現の楽しさを味わうようにする。さらに単元のふりかえりを通して、これからの学習に活かしていこうという気持ちを高め、さらに音楽に親しんでいこうとする心情が高まるようにする。

4 教材

- 「ありがとう」 (山本櫻子作詞 大田桜子作曲)

5 指導計画

豊かな表現を求めて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10時間

- (1) パート練習を中心とした音取りをして曲の感じをつかむ。————2時間
(2) 曲の構成をきちんと理解し、合唱できるようにする。————6時間(本時4/6)
(3) 歌詞解釈を見直し、各声部を聴きながら曲にあった表現ができるようにする。————2時間

6 本時の学習指導

(1)目標

- 表情をつけて豊かな表現を工夫しながら歌おう。

(2)資料及び準備

楽譜

(3)学習指導過程

学習内容及び活動	指導上の留意点	時間
1 発声練習をする。 ○ 「犬のおなか」で発声練習をする。 ○ 「あくび」で発声練習をする。	○ 姿勢・口の開け方・顔の表情など、発声の仕方に注意しながら歌うように助言する。	5分
2 本時の学習内容と目標を確認する。 表情をつけて豊かな表現を工夫しながら歌おう。	○ 本時の学習内容と目標を明確にしておくことで、生徒一人ひとりが学習に見通しを持てるようにする。	7分
3 パート練習をする。 ○ 歌う姿勢に注意して伸びやかな発声で歌えるようにする。 ○ 歌うときの表情・体の使い方を確認する。 ○ 音(音程)を確認して、美しい響きになるように練習する。	○ 円滑にパート練習が出来ているかを確認しながら各パートを回り、つまずきが出ているパートにはアドバイスをする。 ○ 他の人の歌っている姿と自分とを比較しながら歌うように声掛けをする。 ○ 音が取れていない箇所は何度も練習し生徒の身に付くように支援する。	27分 35分 40分
4 合唱練習をする。	○ 一つの円になって歌うことで表情がいい人を	45分

○ 全体で一つの円になり，表情を確認しながら歌う。 ○ 合唱隊形になり，楽譜に出てくる記号を意識しながら歌う。 ○ 最後に一度曲を通す。	- 見ることのできる場を設定する。 ○ 生徒が譜面に出てくる強弱記号や表情記号を意識し、表現をさらにつけることが出来るように声掛けをする。	48分
5 本時のまとめをする。 6 次時予告を聞く。	○ 目標を再確認し，達成できたか振り返る場を設定する。 ○ 次時の学習活動への意欲が高まるように助言する。	50分